

私は、日本共産党議員団を代表して、委員会提出議案第5号「沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書」に反対しますので、討論を行います。

普天間飛行場は、世界一危険な飛行場といわれ、米軍航空機の低空飛行と騒音公害で最も危険な小学校といわれる、普天間第二小学校は普天間基地に隣接しています。普天間飛行場は5年以内の運用停止を承認したにも関わらず、そのままになっています。今、辺野古新基地建設が強行されようとしています。辺野古新基地は普天間にはない軍港機能や弾薬庫が加わり機能強化され、その耐用年数は200年とも言われています。

沖縄の県民は、昨年行われたすべての選挙、つまり名護市長選挙、沖縄県知事選挙、総選挙で、辺野古新基地建設反対の民意を表しています。日本政府は、沖縄の県民の総意を受け、普天間基地の撤去、辺野古新基地建設の中止をするべきです。

沖縄の基地負担の軽減を求めるのであれば、辺野古新基地建設をすすめてはなりません。日本国土全部のわずか0.6%しかない沖縄県に、73.8%もの米軍専

用施設

を集中させ続け、今また22世紀まで利用可能な基地建設が強行されるようなこと、許してはなりません。全国の自治体として、昨年の3度にわたって示された沖縄県民のことを考えるなら、判断を尊重するのが、民主主義であり、

それを無視した意見書をあげるべきではありません。

以上、議員各位の賛同を心からお願いし、反対討論を終わります。